

1 月定例教育委員会会議録【概要版】

開催年月日	令和7年1月22日（水）	場 所	市役所本庁 議会第2委員会室
開催時間	13時30分 から 14時40分まで		
出席者	教育長	高森 賢一	
	教育委員	宮田 靖、久世由美子、甲斐千尋、遠田真央	
	参 与	工藤靖治、竹光俊司、岩佐正文、佐藤健一郎、吉田尚良、田崎俊久、山本栄作、太田康晶、岡田健一、田中政秀、高橋泰成	

◎ 開 会

高森教育長が開会を宣した。（13 時 30 分）

◎ 会議録の承認

12 月 25 日（水）に開催された 12 月定例教育委員会の会議録が承認された。

◎ 事務報告

◆教育長より以下の業務報告が行われた。

- ・リーディングDXスクール公開学習会オンライン
- ・校長評価フィードバック
- ・市町村対抗駅伝延岡市チーム出発式
- ・はたちの成人式
- ・ソフトバンクと「AIチャレンジ（中学生）」についての打合せ
- ・岡富小校舎改築基本設計検討会
- ・学校関係・教育関係者スポーツ交流会
- ・県北書道展表彰式
- ・宮崎交通へ多様化学校通学に係る便の維持要望
- ・児湯教育委員・連絡協議会多様化学校視察

◆教育委員より以下の報告が行われた。

- ◎） 最近よく小中学校から発信されている学校のブログを拝見している。年が明けてもしっかり更新されている様子に感心している。特に授業の様子であったり、地域の方々と交えての交流など、頻繁にやられているんだなっていうような様子が伝わってくるが、そういった学校独自の学

習の様子や活動を地域の方に発信しているということは非常に大切なことで、学校のアピールにも繋がっていくし、地域理解にも繋がっていくのかなあと感心しながら見ている。ただ校長先生、教頭先生がされているんだと思うが、忙しい中、そういった時間を費やして発信されているということに対しては非常に頭が下がる感じがしている。続けてやっていただけることが大変望ましいなと思っているが、働き方改革も踏まえた中でやっていくっていうようなところは課題もあるのではないかなと思うので、また学校等においてもそういった効果などを委員会の方からも伝えていただけるといいのかなと思っているところである。

◎) 正月に人が集まって、いろんな子どもたちの悩みなどを聞いたり、いろいろしたが、同じ悩みがあるのかなというふうに感じて、また次頑張ろうという感じになった。1月10日に、西階中学校の教頭先生から、立志式の最後の打ち合わせをしたが、一番気になったのはやっぱり寒さ対策。体育館に子どもたちが集まって、じっと私の話を1時間15分ぐらい聞いて、そのあと子どもたちと意見交換会もやろうじゃないかという話になって、長い時間になるので、子どもたちが寒くならないようにと言ったら、昨日校長先生から電話があって、寒さ対策等を考えるのでという話をいただいたのでよかったなと感じている。そういうことで1月31日に話をしてくる。それから12日の成人式に参加させていただいたが、今年は見た感じが、すごく始め騒然としている感じだったが、話を聞いていく態度っていうのが去年とかその前に比べて、何となく落ち着いていたので、この子どもたち、形とかそういうのじゃなくて、そういう考え方っていうのはちゃんと成長しているんだなと感じる。今後、西階中学校の件も頑張って、2月に入っていきたいと思う。

◎) 年末年始に、弟家族と会っていろいろと話したことがあって、延岡には waiwai アリーナや西階周辺、市民体育館とか、そういうものがしっかり整備されてきているが、スポーツをやる場所について、メジャーではないいろんなスポーツ、マニアックなスポーツとか何でもいいんで、本当に緩く、本気の競技っていう感じじゃなくていいんで、緩く何でも選んでできるようなクラブ活動のような、市がやるのかちょっと分からないが、そういうのがあるといいんじゃないか。例えばジムでトレーニングするとか、そういう使い方もあると思うが、遊び感覚で、こういうスポーツもあるんだっていう感じで体験できるような場所のような、そういうクラブ活動のようなものがあると、年齢関係なく皆さんが楽しめるんじゃないかなと、そういう話になった。そういう場所で、体育協会とかを絡めて、それぞれの自分たちがやっている競技などのアピール会。こういう競技で、こういう感じで楽しめますよって体験しながら興

味を持ってもらうような、そういうのがあっても面白いかなと思った。そこに例えば、野球、サッカーのほかに全然メジャーじゃないスポーツもあって、さらに例えばそれぞれのジムの経営者が来て、こういう感じですよとか、そういう展示会ではないが、そういうのもちょっと面白いんじゃないかなっていう話になった。

- ◎) 今年は自分自身が年男で 72 歳。そんなに自分が年をとったっていう感じはしないが、年男として 1 月 1 日はちょっと違った場所で日の出を見ようと思って、城山に登った。身内 3 人で上がったが、私が一番歳で、城山のなだらかな坂道がとってもきつかった。帰ったら、今度はニューイヤー駅伝があって、旭化成が日本一に輝いてくれた。その勢いで、2、3 日は箱根駅伝を見て、4 日は、自分の会社では今航空機の降着装置という部品を作っているが、霧島神宮は空の神様で、ゲンを担いで、今年はちょっと飛躍して飛び上がるという気持ちで霧島神宮に参ったが、あそこは四方八方から集まってくる。その中の渋滞に巻き込まれて、たった 1 キロぐらいのところを 1 時間ちょっとかかって、駐車場について、やっと車を降りて、今度は参道に行ったら、ずらっと神殿まで並んでいて、参拝が終わるまで 2 時間ちょっとかかった。6 日から仕事始めで、春日神社に行って安全祈願をして、それから今仕事をしている。今年は年男でもあるので、自分が 72 歳っていうので、何か結果を出したいなと思って、はりきってやっている。皆さん 60、70、50 歳台の方もおられると思うが、一定の年を取ってくると、自分自身はそんなに歳を取ったっていう感じはしないと思うが、一番の基本は何かなあって 72 の歳で考えたことは、やっぱり健康であってということが一番だということ。日頃の生活もちょっとけじめをつけて、生きてみたいなど、この 1 年を歩いていきたいなと思っている。

- ◎) A 委員が言われた件について、アスリートタウン推進課のほうでスポーツの日にやっている「みんなのスポフェス」や小学校体育連盟が 12 月にやっている「スポーツフェスタ」というイベントがあり、そういったものが広がってくるといいなと思った。

◆各課からの事務報告

- 学校教育課長から、12 月 26 日ののべおか未来ワークショップや 12 月期の生徒指導に関する状況等について報告があった。

◆補正予算報告

- 学校支援課とアスリートタウン推進課から、1 月臨時市議会に上程した補正予算の概要について報告があった。

◎ 議 事

◆議案第 20 号 延岡市立学校適正配置検討会議規則の一部を改正する規則の制定

(教育政策課)

- 教育政策課長より、未来へつながる延岡市の教育環境づくりを検討していくための会議の設置に関する規則改正について説明が行われ、異議なく承認された。

◆議案第 21 号 延岡市視聴覚ライブラリー設置規則を廃止する規則の制定 (図書館)

- 図書館長より、延岡市視聴覚ライブラリーを廃止することに伴う規則の廃止について説明が行われ、下記の質疑の後、異議なく承認された。

◎) この機材などを借りる人はほとんどいないということか。

⇒) 現在、趣味の団体が2団体、その他が社会教育団体などで、15件程度の貸し出し状況である。

◎) 貴重なものでまだ見られそうなものについては保管ということか、そのままなのか。

⇒) こちらの資料については、基本的には、まずは図書館の方に移して、その後デジタル化、16ミリやVHS等はDVDに、カセットテープについてはCD化するような形で保存を図っていきたいと考えている。

◎ 協議事項

◆GIGA スクール構想の推進～1人1台端末の着実な整備～ (学校支援課)

- 学校支援課長より、下記のとおり説明を行ったのち、協議を行った。

○GIGAスクール構想が発表された際の文部科学大臣のメッセージを抜粋すると、「令和時代に生きる子どもたちにとっては、パソコン端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムで、今やICTの活用が日常のものとなっています。子どもたちの可能性を広げる場所である学校が時代に取り残され、世界からも遅れたままではいられません」とある。このような背景があって、国のGIGAスクール構想では、1つはこれまでの日本の教育とICTをベストミックスさせることによって、教師や児童生徒の力を最大限に引き出すこと。もう1つは、多様な子どもたちを誰1人取り残すことなく、資質能力を一層確実に育成するために、1人1台端末と高速ネットワークを一体的に整備した教育ICT環境を実現することが目的とされている。

○GIGAスクール構想の教室のイメージについて資料に示している。令和時代のスタンダードとしての1人1台端末の環境になっている。端末とは、ネットワークの末端に接続された機器のことで、パソコンやタブレット、スマホなどのこ

とを指す。G I G Aスクール構想での1人1台端末はタブレットのことを指している。

○G I G Aスクール構想実現するために、国は自治体が実施する1人1台端末等の高速ネットワークの整備に対して、国庫補助金や交付税措置により自治体を支援している。資料には、本市が活用した補助メニューの主な事業を載せている。モバイルルーターの貸出しについては、本市独自の取り組みとなっている。

○G I G Aスクール構想を実現するための目玉は1人1台端末の整備なので、端末整備にスポットを当てて説明する。G I G Aスクール構想の第1期は、令和元年度から5年度で、本市においては、G I G Aスクール構想に着手する前に、延岡市ICT教育推進計画に基づいて、Windows OS端末の Arrows の1547台の整備を進めていた。このような中に、G I G Aスクール構想による1人1台端末の整備方針が国から示され、本市は、令和2年度にchrome OS端末の、chromebook を8198台追加整備した。児童生徒数と端末数を見比べてもらうと、令和2年度以降の児童生徒数に対して端末数が上回っているので、1人1台端末が着実に整備されていることが見て取れる。

○1人1台端末の種類について、延岡市のICT教育推進計画で整備した Arrows とG I G Aスクール構想で整備した chromebook が、すべての学校で混在しており、学校からはタブレットの種類が違っていると授業がやりにくいという声が上がっていた。また全体の端末の数は足りているが、種類が異なることから、学校現場では chromebook が足りない、端末が足りないということになってしまっていたことが第1期での課題であった。延岡市のICT教育推進計画で整備した Arrows を整備する前はデスクトップ型のパソコンであった。そのパソコンのOSがWindowsであったことから、同じOSの Arrows 端末を整備した。G I G Aスクール構想が国から示された後、Arrows のまま端末を整備するのか、新たに chromebook で整備するのかを議論して、最終的に chromebook を採用した。採用理由としては、機器が安価であることや、動作が速いことなどである。県内におけるG I G Aスクール構想第二期で整備する端末のOS選択状況について、26市町村のうち17市町村がchrome OSを選択しているので、chromebook を採用した当時の学校教育課長に先見の明があったと感じている。

○令和6年からのG I G Aスクール構想第二期の端末整備における国の方針については、国が都道府県の基金造成を補助し、都道府県が中心となって、すべての市町村と共同調達会議を設置運営し、市町村が整備する端末費用を補助することとしている。通常の補助金の流れは、国から県、県から市町村となるが、この共同調達会議は、市町村が単独で端末を整備するのではなく、県が音頭を取って、県内市町村の端末をまとめて調達しましょうというものである。共同調達会議で共同調達をすることにより、市町村の事務負担の軽減や調達コストの低減等のメリットがある。本市は今年度と来年度で端末の入れ替えを行うこととしている。

○端末の整備状況について、小学校が令和6年3月から chromebook に統一している。中学校については、6年度当初から準備を進めて、共同調達で chromebook を 627 台整備し、昨年9月から chromebook に統一している。このように整備して、第1期の課題であった端末の混在を解消したところである。令和7年度には、第1期の令和2年度に整備した chromebook の経年劣化が進んでいることから、共同調達により端末の入れ替えをすることとしている。このように端末の整備を進めていくことによって、構想前に整備した Arrows が不要となり、リース会社への端末返却をすることとしている。また8年度には、令和2年度に整備した国費購入分の 6238 台の処分と 1574 台のリース会社への返却を計画している。

○Arrows の整備費用について、令和元年の途中からリースを開始し、令和2年度から4年度までは年間フルでリースをしている。令和5年度は、年度末に chromebook を 388 台整備しているので、その分 Arrows のリース料が減っている。令和6年度からは、順次 Arrows のリース料が不要となってくる。次に、chromebook の整備費用については、令和2年度末からリースを開始して、令和3年度から年間フルでリースをしている。令和5年度は 388 台を追加整備しているので、その分のリース料が増えている。令和6年度以降は、まだ数字が固まっていないが、共同調達により、着実に端末を整備していきたいと考えている。

○令和11年以降の G I G A スクール構想第3期について、資料には、担当課として今後考えられるような事項を記している。1つは、国はまだ第3期の整備方針を示していないが、端末整備を国が支援するのであれば、子どもたちの端末の活用状況によって補助額が決定されるのではないかなというように考えている。2つ目は、国がいつまで端末整備を支援してくれるのか。第3期は、保護者負担も考えられるのではないかなということを書いている。3つ目には、今後、老朽化が進むネットワーク機器の更新が必要になってくるが、今のネットワーク機器を更新するのか、思い切って、スマホのようにどこでも使える L T E にするのか、通信料は市が負担するのかなど、今後検討することになることが想定される。G I G A スクール構想第3期においても、子どもたちの学びを止めないよう、整備に取り組む必要があると考えている。

○本日は1人1台端末の整備にスポットを当てて説明したが、この他にもネットワーク機器の整備や、学校の I C T 機器を活用するための支援、I C T 機器の保守管理などに取り組んでいる。学校支援課としては、今後も引き続き子どもたちの I C T 教育環境の整備・支援に努めていく。

- ◎) 1人1台端末ということで、オアシス教室に通っている子どもたちに対しての状況はどうなっているのかが1点、また、保守点検についての説明があったが、これだけ端末が多くなってくると、どうしても故障などが出ているのではないかなと思う。そういった状況

について伺いたい。

⇒) オアシス教室については、基本的に学校から持ち帰りをさせて使っているケースもあれば、不登校の子どもたちなので、そこに備え付けてあるパソコンを使ったりして活用していると伺っている。

⇒) 端末については、やはり故障が多く、2年度に整備した端末が経年劣化により故障している。直近で言うと、令和6年度の修繕料の予算は小学校で920万円、中学校で410万となっている。

◎) 誰1人取り残さないっていうことを考えたときには、やはりオアシス教室に通っている子どもたちの部分をどうしていくかっていうようなところも、しっかり今後は考えていかなければいけない問題にはなっていくのかなと思う。

◎) ご意見として承りたいと思う。学校支援課ではたくさん修繕費がかかっているが、先日の総合教育会議では、さらにどんどん使ってくださいと、やっぱり使わないほうがもったいないということで、故障を恐れて使わないのではなくて、使い倒すぐらいで使って欲しいという事務局からの気持ちのいい発言があったので、心強く思った次第である。

◎ その他

◆誰一人取り残さない学びの保障の在り方についての主な意見（学校教育課）

- 学校教育課長より、アウトリーチ懇談会における誰一人取り残さない学びの保障の在り方についての主な意見について説明があった。

◆令和7年度の定例教育委員会日程（教育政策課）

- 教育政策課長より、令和7年度の定例教育委員会の日程について説明があった。

◆2月定例教育委員会の日程について（教育政策課）

- 2月定例教育委員会については、2月19日（水）の13時30分から、災害対策本部室で開催する。

◎ 閉会

高森教育長が閉会を宣し、終了した。（14時40分）